

登録No. S-060
 登録名 Panitumumab単独療法
 催吐性リスク 最小度
 適応疾患 結腸・直腸癌
 投与スケジュール

	薬剤	投与量	最大投与量	投与日	投与経路	投与時間	備考
Rp.1	パニツムマブ 生食	6mg/kg 100mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	60min	メインルート 0.2又は0.22 μ mフィルター使用
Rp.2	生食	50mL/body		d1	d.i.v. (CVポート)	30min	パニツムマブ フラッシュ用

1クールの間 2週間
 その他（副作用・PS規定等）

副作用：皮疹、低マグネシウム血症、間質性肺炎
 ・ Infusion reaction対策の前投薬は原則不要だが必要に応じて考慮する。
 重度(Grade3以上)のInfusion reactionが現れた場合、本剤の投与中止。
 Grade2以下は投与速度減じて慎重投与。
 ・ 1回投与量が1000mgを超えて使用する場合は生食を添加して全量を約150mLとし
 90分以上かけて点滴静注。